

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう



北尾ツネさん 奥山伊太郎さん 小林一郎さん 坂本さよさん



徳田ハルさん



貝田シズさん



平井フクさん



松井トヨコさん

### 敬老の日 米寿を祝う 10人のお年寄り



▲民秋市長からホームウェアをプレゼント

九月十五日は敬老の日。八歳の米寿を迎えられる市では、九日、ことし八十人のお年寄りに、らくだ色

のホームウェアをプレゼントし、お祝いをしました。この日、午前九時から、民秋市長がお年寄りの家を一軒ずつ訪問。「体に気をつけて長生きしてください」との励ましの言葉に、お年寄りは、深くうなずいておられました。

また、市内の最高齢者は向日町南山18の上田ヤナさん(95歳・明治15年11月16日生)です。

米寿のお年寄りの一人、森本町上森本3-1にお住まいの関本林造さん(明治二十三年三月一日生)は本人の御都合で、写真を掲載できませんでした。



サークル活動も活発に(手芸サークル)



## 顔のシワものびました 楽しくお年寄りの集い

### 利用されています 老人福祉センター

お年寄りにやさしい生活環境が複雑化している中、生きがい対策と健康増進に役立ててもらおうことを願って建設したもので、オープン以来、多くの方々にご利用いただいています。

利用状況を月別にみると、五月が一日平均約百三十八人、六月百六十八人、七月百七十八人、八月百五十八人、四月二十七日から八月までの累計は、一万六千八百八十七人となっています。

センターでは、各地区の

市では、九月十五日の敬老の日を祝い、九日に向日市民会館で「お年寄りの集い」(敬老会)を開催し、落語や漫才など、おじいちゃん、おばあちゃんに楽しいひとときを過ごしていただきました。

七十歳以上の方を対象に毎年行われているこの敬老会の催し、昨年度は、日帰りのバス旅行で楽しんでいただけていました。

ことしは、近くの向日市民会館で、お笑いとお話シ「で楽しいひとときを、おじいちゃん、おばあちゃんに過ごしてもらおうというものです。

午後一時三十分の開演前には、さすがの大ホールも

老人クラブの会合や、各種サークルの活動も活発に行われ、楽しい話声でいっぱいです。

利用されている方に感想をお聞きしますと：

- ◇毎日の生活にはりがでてきた。
- ◇好きなことが自由にできて、楽しい。
- ◇快適な憩いの場。

などのこたえがありました。

センターを利用できる方は、満六十歳以上の個人および団体ならびに福祉団体です。利用証をセンターでお渡ししていますので、まだ利用されていない方は、ぜひ、お越しください。

お年寄りで演員御礼。約五百七十人の来場者がありあちこちで、世間よもやま話の輪ができていました。

第一部は、露乃五郎一門による落語、漫才を楽しまれました。軽快な話術に、ホール内は爆笑のウズ。顔のシワものびる感じが、顔次から次へと登場するひょうきんもの、新し家に盛んな拍手を送られていました。奇術では、その軽妙な手さばきに「ホーッ」と驚きの声をあげられていました。

第二部の歌謡パルティーンショーでは、聞き知った民謡がでてくると、一緒に口ずさまれるなど、なごやかなムード。

このように三時間にわたって繰り広げられた「お年寄りの集い」も午後四時半には閉幕。楽しいひとときを過ごされたお年寄りは、この集いで友達になられた方々と、にこやかに話しながら家路につかれました。

おじいちゃん、おばあちゃん、健康に気をつけて長生きしてくださいね。

## 毎日少しづつやってみましょう

いつまでも若々しく



▲手くび足くびまわし

▶胸をあげ、のびあがり、次にダラリと下げて力を抜く



◀空気をすって、はき出す



▲かたあしあげ

毎日気軽に体操を